




社 協 名	宮崎市社会福祉協議会（本所）
-------	----------------

ボランティア体験プログラム名		ボランティア体験メニュー							
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	宮崎市内の福祉施設にボランティアの受け入れ状況や、希望するボランティア内容などの調査を行い、ボランティア体験メニューを作成した。 宮崎市内の学校や各地区社会福祉協議会、本会来所者等への周知を行い、本体験メニューをきっかけに、ボランティア活動ならびに福祉に対する活動への理解を深めることを目的として実施した。							活動分野	
								複数の分野	
実施日	令和5年7月1日（土） ～ 9月30日（土）								
活動場所 (建物名等)	各福祉施設、団体等の活動場所								
協力団体									
総 数 (体験者数+協力者数)							33	名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計		
			5	10	6	12	33	名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計		
							0	名	
活動の様子など	<p>新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたものの、現在も受け入れができない施設がある状況。しかし、昨年度は受入れ施設・団体が67か所であったが、今年度は100か所に増加し、今後ボランティア受け入れ先がさらに増加するのではないかと予想する。</p> <p>本体験メニューを活用してボランティア希望の相談に対し、一緒にボランティア先を探ことができ、より相談者が望むボランティア活動につなげることができたと考える。</p> 								

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

		社 協 名		宮崎市社会福祉協議会（本所）				
ボランティア体験プログラム名		障がいの理解とボランティア						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容		障がい福祉やボランティアに関心のある方や、これからを担う若い世代を対象に、障がいへの正しい理解を深め、実際のボランティア活動を体験することで、地域社会の一員として、困っている人に配慮できる人材育成につなげることを目的に開催。当事者からの講話、福祉体験等を行い、受講後は福祉施設等でボランティア体験を行った。					活動分野	
							福祉	
実施日		令和5年8月4日(金) ※受講後のボランティア体験は別途実施。						
活動場所(建物名等)		宮崎市総合福祉保健センター						
協力団体								
総 数 (体験者数+協力者数)							14名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数		小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計
				5	8		1	14名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数		小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一 般	計
								0名
活動の様子など	<ul style="list-style-type: none"> ・中・高生を中心に、一般の方にもご参加いただいた。 ・受講した皆さんは、熱心に講話を聴き、真剣にふくし体験（車いす体験・アイマスク体験）に参加されていた。体験を通して「怖い、大変」という感想だけでなく、本講座の主旨である『自分にはなにができるか』を各自考えていただく機会になったようだ。 ・受講後のボランティア体験では、福祉施設でお茶出しや入浴後の整髪、利用者とのコミュニケーション等を体験したり、ボランティア団体の事業や本会のイベントにおける運営補助としてボランティア体験・活動にご参加いただいた。 					 		

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	宮崎市社会福祉協議会 清武支所
-------	-----------------

ボランティア体験 プログラム名	～ふくしについて考えよう2023～						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	核家族化や少子高齢化が進む中、子どもを取り巻く環境は著しく変化しており、福祉教育の重要性も一層高まってきています。小学4年生～6年生を対象に、手話体験を通して障がいがある方の日常生活を送る上での不便さや大変さを感じ取り、様々な立場の方の気持ちを考えられるきっかけにしてもらうことを目的とし、清武手話サークル「てとてとて」の手話を体験する。						活動分野
							福祉
実施日	令和 5 年 8 月 1 日 (火)						
活動場所 (建物名等)	清武町総合福祉センター						
協力団体	清武手話サークル てとてとて						
総 数 (体験者数+協力者数)							18名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		5				3	8名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
						10	10名
活動の 様子など	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>						

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	宮崎市社会福祉協議会 田野支所
-------	-----------------

ボランティア体験プログラム名		【田野町街なかの清掃】ボランティア活動に参加してみよう！					
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 地域のボランティア団体と田野町駅前通りのゴミ拾いや田野街なかの清掃活動を体験する。 雨が降り出したので、参加した小中学生は駅舎内でボランティアについての講話を実施。 						活動分野
							自然・環境
実施日	令和5年8月27日(日) 8:30~9:30						
活動場所(建物名等)	田野町駅前通り						
協力団体	田野町ボランティア連絡協議会						
総数 (体験者数+協力者数)							46名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
	1	2	6			1	10名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						36	36名
活動の様子など	<p>本年度は田野町ボランティア連絡協議会と一緒に駅周辺の清掃活動を行いました。</p> <p>途中で雨が降り出した為、駅舎の中で参加された小中学生と、参加者の保護者にボランティアについての講話を行いました。皆さん興味深く聞かれていました。その後、たの健康ふくしまつりのボランティア参加に繋がりました。</p>						





※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名

宮崎市社会福祉協議会 佐土原支所

ボランティア体験プログラム名		わんぱくふくし体験 「手話を体験！」聴覚障がい者と交流しよう						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	福祉やボランティアに興味を持ってもらうため、手話を体験し、聴覚障がい者との交流をすることで、言葉を伝える難しさやその大切さを学び、福祉を理解することを目的に開催。						活動分野 福祉	
実施日	令和5年7月22日(土)10:00~12:00							
活動場所 (建物名等)	宮崎市佐土原総合文化センター 研修室							
協力団体	佐土原手話サークル							
総数 (体験者数+協力者数)							30名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
	6	11				13	30名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
							0名	
活動の様子など	<p>*手話を学ぶ 資料を基に、手話とは何か?手話の種類、手話と指文字を学ぶ。 個々に、自己紹介のための自身の名前、生年月日や家族構成を手話でできるよう、講師に聞きながら練習をした。</p> <p>*交流会 聴覚障がい者2名と参加者を2つのグループに分け、それぞれで、自己紹介をしていった。 講座の時に、自分の名前の手話について、なかなか質問が来なかったので、自己紹介ができるか不安だったが、参加者の方々はひそかに練習していたようできちんと伝わっていました。 次に、ゲームをしながら「野菜」「果物」「スポーツ」などの手話をお二人から教えてもらい楽しく過ごしました。</p>						 	

※7月~9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

ボランティア体験プログラム名	「わたしたちにもできる応急手当を学ぼう！」						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	<p>【目 的】救急時に対応できる応急手当の方法を学び、被災者の手助けや被災者へ寄り添えるボランティア活動の推進に繋げる。また、非常時や被災時におけるの救援ボランティア活動の推進に繋げる</p> <p>【活動内容】「救急法を学ぶ」・「非常食を使ったおにぎり作りを体験」</p>						活動分野 福祉
実施日	令和5年8月22日(火) 10:00～12:30						
活動場所(建物名等)	高岡福祉保健センター穆園館						
協力団体	なし						
総 数 (体験者数+協力者数)	体験者27名					27名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		9		3		15	27名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
							0名
活動の様子など	<p>「救急法を学ぶ」では、心肺蘇生法やAEDの使い方などを体験、「助けられる命より、助ける命になろう！」と教わりました。また、「非常食を使ったおにぎり作りを体験」では、アルファミの白飯に湯を入れ炊飯スタート！炊きあがるまでの時間は、防災の映像を視聴しました。白飯が炊きあがったら、ツナやコーン、天かすや青のりなど各家庭にストックしていそうな具材を使用した“おにぎりづくり”を実践。ビニール袋に、白飯と好きな具材を混ぜ合わせ、袋の上から握ることで、災害時等でも対応できる『裏ワザ』を学ぶことができました。</p>						
   							

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	都城市社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験 プログラム名	公民館清掃活動						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	高城中学校生徒会を中心に、地域貢献のため自分の住んでいる公民館の清掃活動を行う。						活動分野
							自然・環境
実施日	令和 5 年 8 月 25 日 (金)						
活動場所 (建物名等)	高城地区内公民館 1 2 か所 (第 1 自治公民館から第 1 2 自治公民館公民館)						
協力団体	高城中学校生徒会 地域ボランティア						
総 数 (体験者数+協力者数)							260 名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
			240			17	257 名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
						3	3 名
活動の 様子など	<p>高城中学生が地域貢献のために、生徒が主体となりボランティア体験（公民館清掃活動）に参加。公民館の中や外の清掃、草取りや網戸の張替えなどを行った。活動を通して、これまでコロナ禍で交流が少なかった地域の方々と触れ合うことができ、貴重な体験となった。今後も地域の方々との交流が深められるようなボランティア活動ができるといいと感じた。公民館もきれいになり、地域の方々との交流もできて、素晴らしい経験となった。</p>						

※ 7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	都城市社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験 プログラム名	夏休み子ども教室						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	山之口地区内の小学校を対象にした「学習」「交流」「遊び」の体験活動を行う教室で、地区社協役員が地域ボランティアと一緒に講師補助及び小学生の活動の支援を行う。						活動分野
							福祉
実施日	令和 5 年7月26日（水） ～ 7月31日（月） ※平日						
活動場所 (建物名等)	シルバーヤングふれあいの館内						
協力団体	山之口地区社会福祉協議会						
総 数 (体験者数+協力者数)							10名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						3	3名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
						7	7名
活動の 様子など							

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	都城市社会福祉協議会高崎サテライト
-------	-------------------

ボランティア体験プログラム名		県下一斉ボランティアの日体験活動					
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	高崎総合運動公園およびパークゴルフ場から高崎中学校までの周辺道路のゴミ拾いを地域のボランティアと一緒にを行う。						活動分野
							自然・環境
実施日	令和5年8月4日(金)						
活動場所(建物名等)	高崎総合運動公園および周辺道路						
協力団体	高崎町ボランティア連絡協議会						
総数 (体験者数+協力者数)						42名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
			25				25名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						17	17名
活動の様子など	高崎総合運動公園およびパークゴルフ場から高崎中学校までの周辺道路のゴミ拾いを地域のボランティアと一緒にを行う。 1時間ほど活動を行い、参加者の皆さんも気持ちよく帰路につかれました。						

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名

都城市社会福祉協議会高崎サテライト

ボランティア体験プログラム名		夏休み子ども寺子屋サロン					
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	高崎地区社協主催の事業。地区内の小学校を対象にした「学習」「交流」「遊び」の体験活動を行うサロンで、中学生が地域ボランティアと一緒に講師補助及び小学生の活動の支援を行う。						活動分野
							福祉
実施日	令和5年8月21日(月)～8月23日(水) 9:00～12:00						
活動場所(建物名等)	さわやか館						
協力団体	高崎地区社会福祉協議会						
総数 (体験者数+協力者数)						11名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
			6				6名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						5	5名
活動の様子など	<p>小学生が夏休みの宿題を行う中で、分からないところを中学生のボランティアの方が丁寧に分かりやすく教えていただきました。</p> <p>また、今まで小学生としてサロンに参加していた生徒が中学生となり、今度はボランティアとして協力いただく生徒もいらっしゃいました。今後も活動を継続していきたいと思っております。</p>						

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。


※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	延岡市社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名	ボランティア体験 ～ブラックバス釣り駆除活動～						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	ボランティアに関心のある方に対して、地域のボランティアグループ等での体験を通して、ボランティア活動へのきっかけづくりを提供する。 NPO法人金堂ヶ池を美しくする会に協力を得て、外来魚（ブラックバス）の駆除活動を体験。						活動分野 自然・環境
実施日	7月2日（日）、7月16日（日） 8月6日（日）、8月20日（日） 9月3日（日）、9月17日（日）						
活動場所 (建物名等)	西階公園金堂ヶ池						
協力団体	NPO法人金堂ヶ池を美しくする会						
総 数 (体験者数+協力者数)							40名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
			1		9		10名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						30	30名
活動の様子など	魚釣りが好きな方々が、自分の特技を生かしたボランティア活動ができるということで、沢山の方々の参加がありました。一度だけの参加ではなく、毎回参加する方もいらっしゃいました。						


※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	延岡市社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名		ボランティア体験 ～子ども食堂～						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ボランティアに関心のある方に対して、地域のボランティアグループ等での体験を通じて、ボランティア活動へのきっかけづくりを提供する。 市内の子ども食堂に協力得て、調理、配膳、受付、消毒作業等を体験。						活動分野	
							福祉	
実施日	子ども食堂のべおか今山：8月26日（土） 子ども食堂恒富：7月15日（土）、9月16日（土） みんなの食堂♡牧：9月21日（土）							
活動場所 (建物名等)	子ども食堂のべおか今山：山下新天街の中・今山登り口 子ども食堂恒富：恒富公民館、古城町個人宅 みんなの食堂♡牧：牧公民館、無鹿公民館、大門公民館							
協力団体	子ども食堂のべおか今山 みんなの食堂♡牧 子ども食堂恒富							
総 数 (体験者数+協力者数)							28名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
			6	2			8名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						20	20名	
活動の様子など	<p>各子ども食堂で、調理や食材の盛り付けの手伝い、机や椅子の準備や清掃、消毒作業などを行っていました。 参加していただけることにスタッフも喜ばれていました。</p> 							


※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	延岡市社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名		ボランティア体験 ～おもちゃの修理・マスコット作成～						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ボランティアに関心のある方に対して、地域のボランティアグループ等での体験を通じて、ボランティア活動へのきっかけづくりを提供する。 おもちゃ病院のべおかに協力を得て、簡単なおもちゃの修理やマスコット作成を体験。						活動分野	
							その他	
実施日	7月8日（土）、7月22日（土）、8月26日（土） 9月9日（土）、9月23日（土）							
活動場所 (建物名等)	延岡市社会福祉センター							
協力団体	おもちゃ病院のべおか							
総 数 (体験者数+協力者数)							63名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
			3	33	2		38名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						25	25名	
活動の様子など	<p>簡単なおもちゃの修理の手伝いや、マスコット作りを体験しました。 作成したマスコットは、交通安全協会へ寄付し、小学新一年生になる子供に配布されました。</p> 							


※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	延岡市社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験 プログラム名		ボランティア体験 ～アニマルバディ～					
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ボランティアに関心のある方に対して、地域のボランティアグループ等での体験を通じて、ボランティア活動へのきっかけづくりを提供する。 アニマルバディに協力を得て、部屋の掃除、動物の世話等を体験。						活動分野
							その他
実施日	7月8日(土)、7月22日(土)、7月29日(土)、7月30日(日) 8月20日(日)、8月29日(火)、9月9日(日)、9月10日(日) 9月16日(土)、9月17日(日)、9月23日(日)、9月24日(日)						
活動場所 (建物名等)	構口シェルター						
協力団体	アニマルバディ						
総 数 (体験者数+協力者数)						51名	
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
			22		5		27名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						24	24名
活動の 様子など	<p>猫を保護しているシェルター内の清掃や、餌や飲み水の交換をしました。</p> <p>病気の猫もいるので、個々に応じたエサの準備等、様々な配慮が必要なボランティア活動でした。</p>						

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	日南市社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名	みんなでボランティア						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	ボランティア活動をはじめるきっかけづくりになることを目的に、身近な場所の清掃活動（環境ボランティア）を行う。						活動分野 自然・環境
実施日	令和5年7月30日（日）						
活動場所（建物名等）	日南市内（飫肥・日南・南郷）駅周辺						
協力団体	日南市ボランティア連絡協議会、日南市役所未来創生課						
総 数 （体験者数+協力者数）							4名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
	0	0	0	0	0	0	0名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
	0	0	0	0	0	4	4名
活動の様子など	<p style="color: red;">雨天中止により、「みんなでボランティア」は実施出来ませんでした。</p> <p>（当初の参加予定者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者：高校生 100名 <li style="padding-left: 20px;">一 般 47名 ・企画運営：一般 4名 <p>合計参加者予定総数 151名</p>						

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名

小林市社会福祉協議会


ボランティア体験 プログラム名		夏のボランティア体験						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ボランティアへの理解や関心を深めることを目的として、小学生の夏休みの宿題（学習、習字、ポスター）の学習支援を体験する。						活動分野	
							福祉	
実施日	令和5年8月 9日（水）…学習（台風により中止） 8月17日（木）…ポスター 8月18日（金）…習字							
活動場所 (建物名等)	細野小学校							
協力団体	細野まちづくり協議会							
総 数 (体験者数+協力者数)							26名	
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
				16	4	2	22名	
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計	
						4	4名	
活動の 様子など	両日ともに、ボランティアが書き方のアドバイスなどの声かけを積極的に行っており、当日中に宿題を終わらせた小学生も多かった。			※許可を取ってないので、 写真掲載なしをお願いします。				

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	小林市社会福祉協議会須木支所
-------	----------------

ボランティア体験プログラム名	暮らしの困り事助け隊						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	一人暮らし高齢者、障がい者宅を訪問し、ご自分では難しい、家や庭先の清掃といったニーズに対するボランティアを体験する。						活動分野
							福祉
実施日	令和5年8月2日(水)						
活動場所(建物名等)	すき総合ふるさとセンター、小林市役所須木庁舎、須木地区住民宅						
協力団体	須木地区民生委員・児童委員協議会、須木地区友愛クラブ連絡協議会、須木中央校区社会福祉協議会、鳥田町校区社会福祉協議会、須木地区ボランティア連絡協議会						
総 数 (体験者数+協力者数)							27名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
			17				17名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						10	10名
活動の様子など							

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名

小林市社会福祉協議会 野尻支所

ボランティア体験プログラム名		ボランティア体験事業						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	学習支援ボランティアグループの設立につなげることを目的に事前に学習支援前から携わり、当日の学習支援ボランティア体験活動を実施した。						活動分野	
							福祉	
実施日	令和5年 7月29日(土)							
活動場所 (建物名等)	野尻町保健福祉センター 友愛会館							
協力団体								
総 数 (体験者数+協力者数)							8名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
				5		3	8名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
							0名	
活動の様子など	<p>事前準備からボランティアには携わってもらい、当日のボランティア体験活動を実施した。</p> <p>今回も感染防止対策として、換気をしながら宿題毎に部屋を分けて実施した。</p> <p>参加児童には事前準備をお願いしており、当日はボランティアに児童がその旨を伝えた後、ボランティアにアドバイスを受けながらスムーズに宿題に取り組むことができた。</p> <p>ボランティアは、得意分野を活かすことができることで、意欲的に児童に関わっていた。</p> <p>また、児童からは「楽しかった」「分からない所を教えてもらった」「また来たい」「色々な宿題が終わったので、良かった」という声もあり、保護者からも大変喜ばれた。</p> <p>今回の学習支援活動を通して、世代間交流を図ることができた。</p>							


※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名

日向市社会福祉協議会

ボランティア体験プログラム名		夏休み児童サポートボランティア						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ボランティア活動での様々な人との関わりが福祉に対する興味・感心を持つきっかけや将来について考える機会にすることを目的に、ボランティア活動を望んでいる参加者に対し、児童クラブ内で小学生の遊びや勉強をサポートするボランティア活動の場を提供する。						活動分野 福祉	
実施日	令和5年8月1日(火)～8月28日(月)							
活動場所 (建物名等)	大王谷児童クラブ(小学校内) 大王谷児童クラブ(児童館内) 富高児童クラブ							
協力団体	大王谷児童館 大王谷学園初等部 富高小学校							
総 数 (体験者数+協力者数)							7名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
				6	1		7名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
							0名	
活動の様子など	<p>ボランティアに初めて参加する学生や、児童にあまり関わった経験がない学生も参加していたが、積極的に子どもたちに関わろうとしている姿や、美術部の学生が小学生にアニメのキャラクターを書いて見せる様子などが見られ、ボランティアがそれぞれの強みを活かしながら活動していた。</p> <p>「他のボランティアもやってみたい」「これからも児童に関わるボランティアに参加したい。」という感想があり、今回のボランティア体験への参加をきっかけに、継続してボランティア活動に取り組んでもらえるよう、今後もボランティアの紹介等を行っていきたい。</p>							

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

ボランティア体験プログラム名		～手話でつながろう～ 手話体験教室						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	聴覚障がい者に対する理解を持ち、手話の特徴や手話を表現する基礎作りから、あいさつや自己紹介など簡単な会話を出来るようにする。						活動分野	
							福祉	
実施日	令和5年 9月 10 日 (日)							
活動場所 (建物名等)	道の駅くしま (多目的室)							
協力団体	講師：串間手話サークル「イルカ」 代表 野邊 由美子氏 協力：串間手話サークル「イルカ」							
総 数 (体験者数+協力者数)							21名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
		10	1	1		3	15名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計	
		1		1		4	6名	
活動の様子など	<p>初めに、あいさつや自己紹介に関する基本的な手話からスタートし、手話で一人ひとりの苗字や表し方など教えて頂きました。身振りや指差し、ゆっくりと話しかけることや伝えようと思う気持ちが大切だと学びました。</p> <p>参加された生徒及び保護者からは「目の前で実際の手話を体験し、楽しみながら学ぶことが出来たので良かった」「また、手話に関する体験教室に参加してみたい」との声を頂きました。</p>							

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	西都市社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名	県下一斉ボランティア活動の日 「一掃キレイ！大作戦」						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	西都市にある記紀の道及びあいそめガーデン周辺を西都市ボランティア連絡協議会の構成員と地域住民等が協力して清掃し、環境美化活動を通して実践者同士の連帯感及び地域とのつながりを高める。						活動分野
							自然・環境
実施日	令和5年8月27日（日）						
活動場所 (建物名等)	記紀の道一部及びあいそめガーデン周辺						
協力団体	西都市ボランティア連絡協議会						
総 数 (体験者数+協力者数)							16名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						16	16名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
							名
活動の様子など	<p>西都市の記紀の道にある西都市ボランティア連絡協議会の管理する花壇「あいそめガーデン」周辺及び記紀の道の一部の草刈り、草抜き、花の種まぎを中心に行った。当日は、ボランティア連絡協議会関係者のみの参加となったが、環境美化活動を通してボランティア連絡協議会の加入者同士の連帯感が高まるとともに、貴重な交流の機会となった。</p> 						

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名		えびの市社会福祉協議会					
ボランティア体験プログラム名		“お年寄りの” 「困りごとお助け隊」					
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	高齢者の生活上の困りごとの一つである、庭の草取りや窓ふきなどを、中学生がボランティアとしてお手伝いをする事で、地域課題に触れるとともに地域高齢者との交流を図る。						活動分野
							福祉
実施日	加久藤地区：7月28日（金） 真幸地区：7月31日（月） 上江地区：8月2日（水）						
活動場所 (建物名等)	えびの市内の高齢者宅						
協力団体	えびの市民生委員児童委員協議会、えびの市高齢者クラブ えびの市在宅介護支援センター、えびの市自治会						
総 数 (体験者数+協力者数)	体験者：中学生63名（加久藤24真幸15上江24） 協力者：民生委員2名、 一般2名、スタッフのべ15名						82名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
			63				63名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						19	19名
活動の様子など	<p>「困りごとお助け隊員」中学生63名は、4～5名のグループに分かれ、市内の高齢者宅12件の清掃活動を行いました。活動中は高齢者との会話を楽しみながら、草取りや窓ふきなど1時間程度の清掃活動を行いました。高齢者の方からは、「足が弱くなり庭の手入れができないので助かった」「子供たちとの会話が楽しかった」など喜びの声が聞かれ、参加者からは「日頃体験できない活動ができて良かった」「またボランティアに参加したい」など、ボランティア活動の満足感や達成感を感じてもらうことができました。また、8/9に予定していた飯野中学校については台風接近に伴い中止となりました。</p>						

※7月～9月に実施された活動のみを御報告ください。

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。